

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		5	3	活動により指導訓練室を使い分けているが、活動によってはせまいことがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		5名から9名の職員を配置しており配置数はてきせつである。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	1	エレベーターを設置しています。階段の上り下りが難しい利用者に使用してもらっていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	6	1	目標設定は出来ていないが、振り返りはできています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	3	まだ保護者向けアンケートは実施していないが今後、早急に実施する予定である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	3	まだ公開はしていないが、今後実施する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	4	第三者による外部評価は行っていないが、行政の監査での指摘を通し業務改善に繋がっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		法人主催の研修会をはじめ月1回の勉強会や各種研修会を利用しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			利用児童の障がい特性に応じてアセスメントを行い個別支援計画に反映させています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	1	事業所の特徴に合わせたものを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	5	1	今後チームで立案し職員全員が確認をして実行していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5		複数の職員が交代で活動案を立て固定化しない様に配慮していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	6	1	休日、長期休暇中は、長時間の受け入れの中で、できるだけきめ細やかな支援を心がけています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		2	集団の活動の中で配慮していくとともに子供の状況によっては個別での支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4		ミーティングを行い活動の内容や役割分担を決めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	1	翌日のミーティングで行われた支援の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		1	支援終了後に記録を取る時間を確保し、紙媒体で残しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		1	半年に1回おモニタリングを行い、次につながる支援計画を作成しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	6	1	個別支援計画に基づき日常生活動作や自立生活の為に活動及び余暇活動を提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	1	主任またはその利用者に精通している担当職員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1		定期的な連携は行っていないが随時学校と連絡を取り合い児童の利用について情報共有ができるように心がけています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	1	就学前に利用していた事業所と連携をとっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		相談委員を通し利用時期の状況を伝え今後の支援に必要な情報を提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	3	児童発達支援センターからは研修会の案内や障害児相談支援の利用計画について、連絡が入ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		4	法人のイベントに関わる程度でほとんどありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5	3	福山地区の放課後等デイサービス連絡協議会には参加しているが、自立支援協議会には参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時に情報交換をしていたが、十分な情報交換が出来ないので個別の懇談を実施しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	3	必要だと感じていますがまだ実施できていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	4	1	契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		送迎時にを中心にできるだけ話をしたり、個別の懇談をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	3	保護者の集いとして実施していましたが、本年度は実施できませんでした。来年度より保護者の集いを再開します。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		苦情担当窓口を置き利用者からの些細な声も聞き逃さない様に気をつけている。苦情があった場合は苦情解決責任者に報告し迅速な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		季節ごとに通信を発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報に係る同意書を作成し活用しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			利用者にはその子の理解に合わせた伝達の仕方を工夫し、保護者には送迎時に話をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	1	法人の行事を通して地域住民との交流を図っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	全てのマニュアルは出来ていないが今後必要なものは作成し、職員、保護者に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	2	施設全体での訓練はしていますが、放デイ独自の訓練は出来ていません。今後はデイ独自の避難訓練など実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	1	人権擁護及び虐待防止に関する研修に参加し、施設の勉強会で発表し職員に周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	5		やむ得ない身体拘束について十分な説明を行い、記録に残すようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	2	保護者を通じて食事等に配慮しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		3	いつでも閲覧できるようにしているが全ての事例が作成できていません。ヒヤリハットの事例を作成するように心がけていきます。